

## 令和元年度 光プロジェクト「医学部医学科学習方法講演会」

- 実施日 令和元年6月28日（金）
- 講師 福中 信人 先生（学校法人河合塾 水戸校）
- 参加生徒 34名（1年14名・2年19名・3年1名）
- 実施場所 西教室（本館1階）

6月28日（金）の13:00～14:40、医学部および医療系の学部を志望する生徒34名が集まり、今年度の「医学部医学科学習方法講演会」が実施されました。

講師の福中 信人（ふくなかのぶと）先生は、河合塾津田沼校（千葉県習志野市）に長く勤務し、現在は水戸校に所属されています。医学部医学科を目指す生徒たちを数多く導いてこられた経験を活かし、含蓄に富んだお話をいただきました。

「医学部受験を経験した人たちの、ほぼ全員がいう言葉…それは『とにかく時間が足りなくなる』『もっと時間があればなー』。医学部入試は、何はともあれ準備に時間がかかることを認識してほしい。」

「現役で合格した人たちからも、『理科と英文法を完成させることができなかった』という声が多く聞かれる。医学部レベルを考えるなら、高1・高2からこの2つには本気で取組んでほしい。英文法と英単語を1・2年でしっかりやっておけば心強い。」

「必要なのは、私立中学受験のような『閃き、センス』ではありません！『努力の量と質』です！基礎基本を、いかに完璧にできるかです！」

ソフトな語り口に加え、要所要所で数値データを効果的に提示される先生の講義スタイルは、たいへんわかりやすく、かつ鋭い論点が満載であり、たいへん聞きごたえのあるものでした。また、主な大学の難易度や、入学後に重視されるポイントに関する情報（某大学医学部は留学生が多く、最初の2年間は英語をメチャクチャやらされる…など）も提供していただきました。

参加した生徒たちも、定期考査最終日という厳しい日程にも関わらず、熱心に耳を傾け、さかんにメモを取っていました。

先日「先輩講話」で来校された小寺先輩のように医学部医学科をめざす者、医学科ではないけれど、医療系の道を歩もうとする者、ともに実り多き時間を過ごせたのではないかと思います。福中先生、熱のこもったご講義をいただき、誠にありがとうございました。



【アンケート結果】（33名）

- 1 本日の講演会は、あなたにとって有意義なものとなりましたか？
 

A 大いに有意義だった … 22名	B 有意義だった … 11名
C どちらでもない … 0名	D 意義が見いだせなかった … 0名
  
- 2 医学部医学科入試に関する有意義な情報を得ることができましたか？
 

A 大いに得られた … 31名	B 少し得られた … 2名
C どちらでもない … 0名	D 得られなかった … 0名
  
- 3 医学部医学科、もしくは医療系の入試に対する関心・意欲を刺激されましたか？
 

A 大いに刺激された … 22名	B 少し刺激された … 10名
C どちらでもない … 1名	D 刺激されなかった … 0名

#### 4 生徒の感想から

- 医学部への道のりは厳しく長いものだと思うけれど、行きたいという気持ちが強まった。
- 勉強のしかただけでなく、夏休みの過ごし方や、これからのことなど、役に立つ、こまかい部分まで知ることができてよかった。
- 何を受験に向けて学んでいくべきか、また、医療関係の学部に入学することで、そこからの選択にどれだけの幅が広がるかなどを、充分に知ることができました。  
今回学んだことをもとに、自分でも調べていきたいと思います。
- 医学部の受験は難しいことは知っていたけれど、得点や偏差値などが思っていたよりも高く、びっくりしたので、夏休みを使って基礎を固められるようにしたい。  
医療科学に興味があるから、教科選択なども大切ということが分かった。
- 自由に夏休みが使えるのは今年がラストだから、英・数・理に重点をおいて受験勉強を始めようと思う。夏休みの使い方をもっと計画的にしようかなと思った。
- 受験までにしておきたいことや、「今」の医学部の入試情報など、実際の数値も交えながら解説してくださり、分かりやすかった。
- 医療系の大学に入るためにたくさんの医療用語が必要になってくることを学び、入手するためにまず自分が興味を持った医療分野から調べていこうと思いました。